KDH-2／KDHVオプション

フラットディスプレイハンガー 機器収納ボックス（ＫＤ－ＢＯＸ） 取扱説明書

この度は弊社製品をお買い求めいただきましてありがとうございます。

●この説明書は製品の組立て方、使い方、使用上の注意事項について記載してあります。

●ご使用前に必ずこの説明書をよくお読みの上正しくお使いください。

●また製品を末永くご使用いただくためにこの説明書は大切に保管してください。

※裏面の安全上の注意を必ずお読みください。

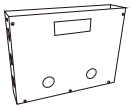
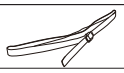
組立てをはじめる前に

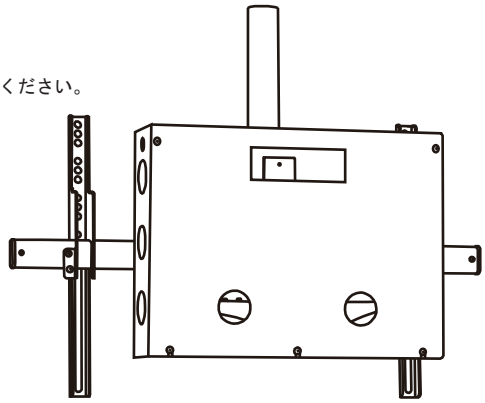
●組立てるまえに必ず部品表と組立完成図をご覧になり内容物をご確認ください。

●組立作業をする場合はカーペットの上か毛布などの養生シートを敷いた所で床や製品を傷つけないようにご注意ください。

●組立にあたってはプラスドライバーをご用意ください。

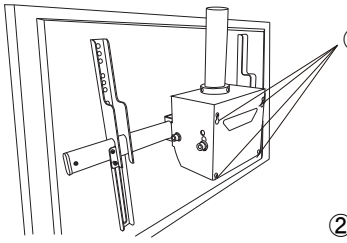
構成表

品　名	数量	外観図	質量
機器収納ボックス（本体）	1		1.0kg
機器固定ベルト	1		

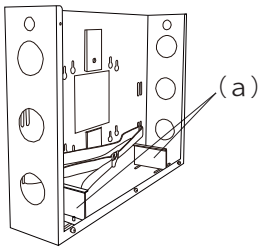


完成図

1　機器収納ボックスの取付

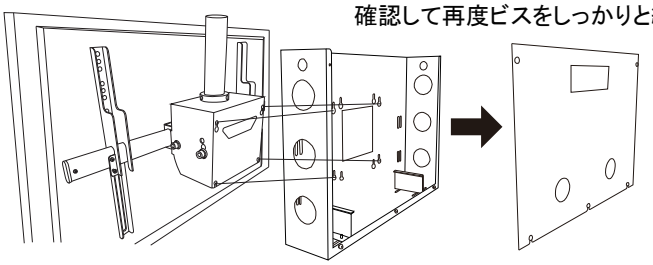


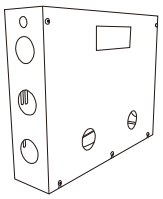
①ディスプレイハンガー（KDH-2、KDHV）の背面カバーを固定している4箇所のビスを緩めます。



③機器を搭載します。
その際、搭載する機器の寸法に合わせて（a)機器受け金具の間隔を調整します。
ケーブル等の接続作業の後、機器固定ベルトでしっかりと固定します。

②機器収納ボックスの脱着カバーを外し、本体のだるま穴に①で緩めたビスを引っ掛けます。
4箇所のビスが確実にかかっていることを確認して再度ビスをしっかりと締めます。

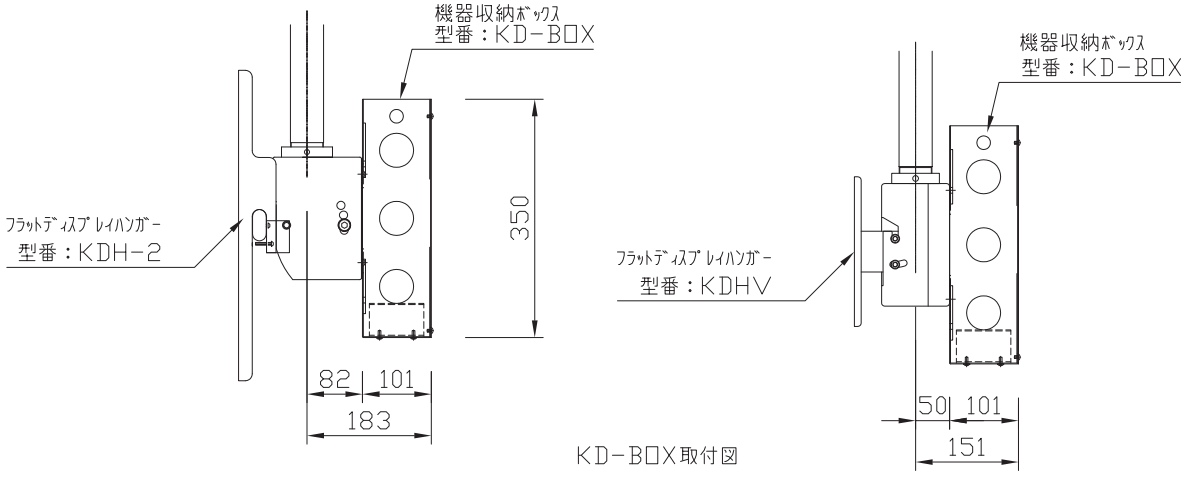




④最後に脱着カバーを取り付けます。

※KDH、KDHV（旧タイプ）の背面カバーに通線用スリットが無いものへ取付ける場合はディスプレイハンガー本体の背面カバーを取外してから背面カバー取付ビスを用いて取付けてください。

2　組込図



KD-B□X取付図

安全のために必ず守ること

●この取扱説明書で使用している表示と意味は次のようになっています

⚠警告	表示の内容を無視して誤った使い方をしたときに 「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容
⚠注意	表示の内容を無視して誤った使い方をしたときに 「傷害を負う可能性または物理的傷害のみが発生する可能性が想定される」内容

●図記号の意味は次のとおりです。

⃠	絶対におこなわないでください。	❗	必ず指示に従って、おこなってください。

●ご使用の前に、この欄を必ずお読みになり、正しくお使いください。

⚠警告

●お客様自身で商品の改造は絶対にしないでください。 →変形や破損、落下などを引き起こす原因になります。	⃠
● 機器収納ボックスには、重い物を置かないで下さい。 落下したり、こわれたりしてけがの原因となります。 ● 耐荷重10kg・フラットディスプレイハンガー本体の耐荷重 （KDH-2：55kg、KDHV：30kg）の範囲内でお使いください。	⃠

⚠注意

●機器収納ボックスをフラットディスプレイハンガーに取付けるときは、 付属部品に頭などをぶつけないように十分注意ください。	❗
● ボルトやネジ類は所定の場所に確実に締め付けてください。 →機器収納ボックスが落下してけがの原因になります。	❗
●ゆがみ、ゆるみ、破損等がないか１年に１度は点検してください。	❗

●この製品を第三者に譲渡する場合はこの説明書も共に譲渡しよく読んでから使用するようにご注意ください。

※改良のため仕様及び外観は予告なく変更することがありますのでご了承ください。

通常のお手入れ

・通常のお手入れとして時々乾いた柔らかい布でから拭きしてください。
汚れがついたときは5～6倍に薄めた中性洗剤でふき取り水拭きした後、乾いた布でから拭きしてください。
ベンジンやシンナー系溶剤で拭いたりぬれたまま放置しないでください。
サビや変色の原因になります。

取説No. 452640